

平成30年3月30日

福知山市議会議長様

会派名 大志の会
代表者名 桐村一彦

政務活動費実績報告書

平成29年5月1日付け財政発第56-2号により交付決定のあった政務活動費において、平成29年度下半期（10月から3月）の政務活動が完了したので、福知山市議会政務活動費の交付に関する条例第10条第2項及び第3項の規定により、下記のとおり実績報告書を提出します。

記

1 平成29年度政務活動費の額（下半期） 133,725円

2 政務活動費の対象となる経費の内訳

項目	金額（上半期）	主な支出内容
調査研究費	6,848円	豊岡市、養父市を視察して定住自立圈構想を研究した
研修費	118,968円	千葉市の市町村職員中央研修所において議員研修を受けた
広報費		
広聴費		
要請・陳情活動費		
会議費		
資料作成費	7,909円	会派室のプリンターインク、用紙
資料購入費		
人件費		
事務所費		
合計	133,725円	

添付書類

- ・政務活動の実施状況及び成果を確認できる書類
- ・政務活動費の収入額及びその内容に関する書類
- ・政務活動費の支出額及びその使途に関する書類
- ・政務活動費の支出に係る領収書の原本又はこれに準ずる書類



(様式 1)

平成30年3月26日 提出

福知山市議会議長 様

会派名 大志の会
代表者名 桐村一彦 

福知山市議会「大志の会」
行政視察研修報告書

1 視察日程 平成29年11月14日（火）

2 視察先及び調査項目

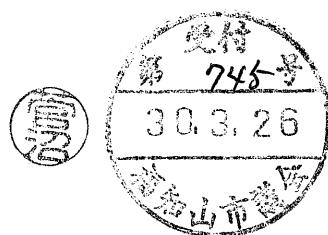
（1）兵庫県豊岡市
「定住自立圏構想について」

（2）兵庫県養父市
「定住自立圏構想について」

3 参加議員
高宮辰郎、桐村一彦、西田信吾 以上3名

4 経費 調査研究費 6,848円 (様式3) のとおり

5 調査報告 別紙（様式2）のとおり



様式2-1

会派「大志の会」

視察日	平成29年11月14日(火) 10:00~
視察先	<p>兵庫県豊岡市 人口 83,554人 (平成29年4月1日現在) 市面積 697.55 km² 議員定数 22人</p>
調査項目	定住自立圏構想について
施策・取組等	
視察理由 事前研究等の概要とそれに基づく調査項目・視察先の選定理由等	<p>定住自立圏締結に向けての取組みと課題 定住自立圏を締結した「中心市」として選定</p>
調査概要 調査項目の施策・取組等の実施状況等	<p>◎豊岡市における定住自立圏「但馬定住自立圏」の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 豊岡市は兵庫県北部に位置し、面積は 697.55 km²と非常に広範囲な状況であるが、定住自立圏の中心市として機能している。 ・ 中心市宣言は平成23年3月、導入については25年10月に市長が決断した。 ・ 決定に関して議会での検討結果は概ね賛同があり特に問題はなかった。市長と各首長が折に触れて協議したため、中心市になることに周辺町村との転轢はなかった。近隣市町村は新温泉町、香美町、養父市、朝来市の2市2町と連携し圏域を形成する。新温泉町は「鳥取・因幡定住自立圏」(中心市は鳥取市、他に鳥取県内の4町)にも協定している。 ・ 連携事業としてはメインに「周産期医療センターの整備」事業。 ・ すべての市町が連携できる事業にこだわらず、共同で実施している事業だけでなく、目的が同じであれば各市町が個々で実施している事業とし、総合的に圏域の目的を達成した。施策分野の生活機能の強化として、①医療、②産業振興、③環境、④防災)。結びつきやネットワークの強化として、⑤地域公共交通、⑥圏域内外の住民との交流・移住促進。圏域マネジメント能力の強化として、⑦人材育成などを実施しており、今後も拡張する方針である。 ・ メリットとしては、連携の強化、財政措置、有利な事業債、国からの支援(単独よりも有利)などがある。デメリットとしては会議や協議などの事務処理が増えること、日程調整が困難なことがある。(中心市が主体として行う)
考 察 本市での施策充実化に向けた可能性、課題、今後の調査取組方針等	<p>◎福知山市政に活かすこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本件は3市2町と連携し定住自立圏を形成する中心市であり、数多くの事業を行っている例として参考になる。 ・ 本市においても丹波市などの特に交流人口が多い市や既に連携している周辺市町とのさらなる連携を図る上で有効な施策と考える。 ・ 導入に当たっては中心市に対する抵抗を和らげる意味でも首長同士の事前の話し合いが必要であると感じた。

様式2-2

会派「大志の会」

視察日	平成29年11月14日(火) 14:00~
視察先	<p>兵庫県養父市 人口 24,686人 (平成29年2月28日現在) 市面積 422.91 km² 議員定数 16人</p>
調査項目	定住自立圏構想について
施策・取組等	
視察理由 事前研究等の概要とそれに基づく調査項目・視察先の選定理由等	<p>定住自立圏締結に向けての取組みと課題 定住自立圏を締結した「近隣市町村」として選定</p>
調査概要 調査項目の施策・取組等の実施状況等	<p>◎養父市における定住自立圏「但馬定住自立圏」の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 養父市は平成16年4月1日に養父郡八鹿町、同養父町、同大屋町、同関宮町が合併し「養父市」として市政を施行した。面積は422.91 km²、人口は24,686人(平成29年2月末)。古くから但馬地域の要衝として、生糸商が栄えるとともに但馬牛取引の拠点ともなった。 ・ 定住自立圏への参加決定経緯は、但馬地域では産科医の確保が難しく、子供が生み育てられなくなるという懸念があり、但馬地域全体で「周産期医療センター」を整備する必要性を感じ、定住自立圏構想に至った。 ・ 平成24年9月20日に「但馬定住自立圏共生ビジョン」を策定した。 ・ 具体的な取組内容は医療、産業振興、環境、地域公共交通、圏域以外の住民との交流・移住促進、人材の育成、福祉、教育、観光、防災・消防、道路網の整備などに取り組んでいく。 ・ 役割分担については中心市の豊岡市主導で進めている。 ・ 古くからの繋がりがあり、自治体の規模も大きな違いがあるので中心市に対しても抵抗はなかった。議会の反対もなかった。 ・ 定住自立圏に参加するということは、都市機能として不足している機能を補完する取り組みである。 ・ メリットは特別交付税や事業の優先選択などの財政上の優遇措置があることと、1つの自治体では取り組みが難しい事業でも取り組み可能になる。 ・ 中心市と周辺市町がお互いに了解したものを協定するので、基本的にデメリットはない。
考 察 本市での施策充実化に向けた可能性、課題、今後の調査取組方針等	<p>◎福知山市政に活かすこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本市においても丹波市などの特に交流人口が多い市との連携を図る上で参考になる。 自治体の特色(本市においては「福知山公立大学」の存在や長田野工業団地の存在)を活かした導入の強調が非常に有効と感じた。 同時に住民同士の繋がりが重要であり、本市においても周辺の市町との長い交流があることから、メリットを共有できることを確認しあうことで導入に向けた取り組みを進めたい。

(様式1)

平成30年3月26日提出

福知山市議会議長 様

会派名 大志の会

代表者名 桐村一彦



福知山市議会「大志の会」

行政視察研修報告書

1 研修年月日 平成30年1月15日(月)～1月16日(火)

2 研修先 千葉市美浜区浜田1丁目1番 電話043-276-3737
(公財) 全国市町村研修財団 市町村職員中央研修所
(市町村アカデミー JAMP)

3 参加者氏名 高宮辰郎・桐村一彦・西田信吾 3名

4 経 費 研修参加費 30,000円
振込料 648円
交通費 88,320円
合計金額 118,968円 ✓

5 研修項目 平成29年度 第2回市町村議会議員特別セミナー

～地域における政策課題～

① 講義 人口知能AIの現状とこれから

講師 国立情報学研究所教授 (一社) 人口知能学会会長
山田 誠二 氏

② 講義 地域活動と議員の役割

講師 早稲田大学マニフェスト研究所事務局長
(一社) 地域経営推進センター代表理事 中村 健 氏

③ 講義 複雑化・多様化する環境問題への取り組み

講師 放送大学理事・副学長、広島大学名誉教授 岡田 光正 氏

④ 講義 地方自治の本旨と地方議会制度の在り方

講師 首都大学東京大学院社会科学研究科法学政治専攻教授
木村 草太 氏

6 研修内容 別紙(様式2のとおり)

7 資 料 視察研修行程表・写真・資料(別添資料 1)

8 経費精算書 (様式3のとおり)



(様式2-1)

日 時 平成30年1月15(月)

講義 人口知能AIの現状とこれから

講師 国立情報学研究所教授 (一社) 人口知能学会会長 山田 誠二 氏

研修の内容と評価

1. AIを取り巻く状況、人口知能AIとは何か

AI(Artificial Intelligence) 人間並みの知的な処理をコンピュータ上に実現

2. AIここ数年のトピック ==第3次AIブーム==

一般物体認証 テレビゲームの学習 GOOGLEの猫 ALPHAGO

3. AIの得手／不得手

会計と監査 災害救助ロボット 自動車の自動走行

4. AIで変わる社会 ==今後有望な応用分野==

賢い情報検索 高度なパターン認識 会計関連 ネット利用の様々なサービスのAI化

人間とAIの労働：役割分担 ==AIが人間のやるべき仕事を明確化する==

5. 日本企業に期待されること、準備すべきこと

人間が無意識に簡単に行っている作業ほどAIには難しい

==コンビニ店員の労働==

AIが仕事を部分的に代替え AIの得手不得手 人間とAIが一緒に働く社会

6. これからのAI ==インタラクティブAI==

人とAIの現実的で望ましい関係

協調する人とAI：インタラクティブAI（人とロボットが飛行機を操縦、人がロボットに仕事を教える）

人間とAIが得意分野を補い合い協調して問題解決する

評価

近い将来AIが人に代わって多くの仕事をし、雇用形態が大きき変化するようにならざるを得ない。しかしながら、AIにおける得手不得手により、対話型や相互作用型のように、人間AIが得意分野を補い合い協調して、問題解決する社会が望ましいと思う。

人とAI仲良くね。

(様式2-2)

日 時 平成30年1月15(月)

講義 地域活動と議員の役割

講師 早稲田大学マニフェスト研究所事務局長

(一社) 地域経営推進センター代表理事 中村 健 氏

研修の内容と評価

議会改革度調査2016より

情報共有

会議録・資料 動画 賛否、活動報告 広報、広聴

(議事録公開、議事録公開日数、事前公開、動画公開、動画と資料の関連付け、賛否結果と理由、視察の公開、政務活動費の公開、政務活動費のチェックと支給、議会だより発行数、議会だより工夫点、HPとSNS、広報戦略)

住民参加

傍聴議会 発言、意見受付 直接対話I 直接対話II

(傍聴議会、バリアフリー、傍聴・利用工夫、住民の発言機会、参考人と公聴会、住民意見の反映、シティズンシップ、選挙公報、報告会の義務付け、報告会の開催、平均会場数と参加者数、報告会の意見反映、報告会の意見政策、報告会の参加増加、報告会の充実)

機能強化I

議会基本条例 マネジメント 議案 討議、調査充実

(基本条例の制定と改正、基本条例の検証・公開、検討組織、実行計画、議会改革の検証・公開、議長選挙の立候補制、議長選挙の公開、議員提案条例の数、議員提案条例の検証、修正案の提出と否決、通年議会、反問権・一問一答・議員間討議、所管事務調査、ホワイトボード)

機能強化II

計画、予算決算 議会局、サポート ICT、非常時 研究、調査環境

(議決事項の追加、自治体計画、決算と予算、外部サポート、事務局改革、災害時、政治倫理、PC持込み、ICT、ICTの詳細内容、データベース、図書室の利用、図書室の状況)

全国議会の動向

議会自身が認識する事、議会を住民に知らせる事==議会として、どの様な活動をしているのか。 ⇒⇒⇒ 議会活動が地域経営に連動している事==議会として活動して結果、地域に変化を起こせたかどうかを議会自らがチェックする体制を整えているか。 に変わってきた。

議会活動の課題 (情報収集・調査分析・議論)

住民福祉の向上 ⇄⇄⇄ 納得感 ⇄⇄⇄ 税の徴収、税の分配

ニーズを把握する 社会環境を読む 政策:税の納入と振分け 政策の中身を知って(参画して)もらう 政策に納得してもらう 政策の結果を検証する

評価

マニフェストの動向をみて、議員の役割は、地域活動を通じ、住民福祉の向上のために努力することであり、常に研究心をもって、向上し、市民の負託に応える。

(様式2-3)

日 時 平成30年1月16(火)

講義 複雑化・多様化する環境問題への取り組み

講師 放送大学理事・副学長、広島大学名誉教授 岡田 光正 氏

研修の内容と評価

日本における環境問題

環境基本法：平成5年11月19日法律第91号

基本理念と施策の基本となる事項を定めた。

東日本大震災（平成23年3月11日）発生による変化。

第四次環境基本計画（平成24年4月27日）

目指すべき持続可能な社会＝人の健康や生態系に対するリスクが十分に低減され、

「安全」が確保されることが前提＝「低炭素」・「循環」・「自然共生」の各分野＝

健全な環境が地球規模で行われなければならない。

第五次環境基本計画の方向性について（案）（2017年12月）

1. 地域環境共生圏の創造。 2. 世界の範となる日本の確立。

3. 環境・生命文明社会の実現。

農山漁村＝＝＝地域環境共生圏＝＝＝都市

水環境の望ましい状態とは 人の健康の保護 生活環境の保全

環境問題解決の方法は？＝排水は浄化してから放流すべきである！しかし、どこまできれいにするか？

排水はどこまで処理するか？＝汚濁原因物質を完全に除去？ 技術的に可能なレベル？ 社会的／経済的に公平なレベル？ 環境基準達成に十分なレベル？ ＝＝公平性を重んじる日本のやり方。

複雑な環境問題へ対策は？＝排水の水質基準。

水質総量削減＝放流水域の水質／環境

中長期的な目標

今後の四半世紀における望ましい社会・経済像を見据え、流域の特性に応じた水質、水量、水生生物等、水辺地を含む水環境や地盤環境が保全され、それらの持続可能な利用があ図られる社会の構築を目指す。

地球規模の環境問題への対策は？ 温暖化 気候変動は地球規模の問題か？

評価

我々は何のために海をきれいにするのか？ 目標を決めるということはどういうことなのか？ 最終的には政治が決める、皆さん方が決める！

将来世代、次世代に対して、今やらなければ地球環境維持は望めない。自分のこととして、真剣に考えていかなければならない。

(様式2-4)

日 時 平成30年1月16(火)

講義 地方自治の本旨と地方議会制度の在り方

講師 首都大学東京大学学院社会科学研究科法学政治専攻教授 木村 草太 氏

研修の内容と評価

地方自治とは何か? 内戦を終わらせる。という大目的があつた。

1. 国家主権の原理との緊張関係

正統化された実力行使の広汎な領域を締め出す、近年にいたるまでの百年がかりのプロセスで
あつた。(父親や親方の懲罰権、学校における殴打の罪など)

2. 国家法人内部の権力分立

「国家法人説」の登場が、国家「権力の单一不可分性」という想定を放棄することなく、自らの
内側に最大限の多元性を抱え込むことを可能にした。

垂直的権利分立 ← → 水平的権利分立

3. 連邦制の原理との比較

単一国家：国民主権原理 議会を中心に動く 住民自治

連邦国家：2つの戦略によって民主的正統性→民主的正統性を備えた邦の連携+国民主権原理

4. 単一国家における地方政府の民主的正統性

GHQ案と日本政府案：第八章の制定経緯

1. GHQ案におけるホーム・ルール制

1945年8月：ポツダム宣言受諾→基本的人権の確立や民主主義の復活強化を求める条項

1945年12月6日：民政局のラウエル、過度の集権を戒めるメモ

2. 日本国憲法におけるホーム・ルール制の挫折

1946年2月13日：GHQ案交付

1946年4月17日：憲法改正草案

議会を設置 直接選挙 条例制定可 住民の投票(過半数の同意)

日本国憲法の地方自治

1. 地方自治の本旨 憲法92条の意義：法律事項化・団体自治と住民自治

2. 地方公共団体の設置 制度的保障 中央政府直轄地の否定

3. 地方公共団体の組織 二元的代表制

4. 地方公共団体の権限 具体的権限は未規定

5. 地方特別法の住民投票 中央政府に対抗していく方法

地方議会の意義

町村総会ではノーチェックになる危険性。 直接民主制・住民協働という触れ込み。「総懲悔」
の無責任になる。 多人数過ぎて議論ができない。 分業が消えて、他人任せに。 議員のやり
がい、どう作るか 町村議会は3人でも可能。

評価

歴史的背景から地方自治における「地方自治の意義」と、議会設置による「二元代表制の意義」
を再確認できた内容であった。

(別添資料)

写真・資料等

29年度セミナー資料

(様式3)

経費精算書

会派名 大志の会

代表者名 桐村一彦

経理責任者 西田信吾



1 観察日程 平成29年11月14日(火)

2 観察先及び調査項目

(1) 兵庫県豊岡市 「定住自立圏構想について」

(2) 兵庫県養父市 「定住自立圏構想について」

(単位:円)

支出月日	支出項目	支出金額	領収書No.
11月13日	調査研究費 観察土産代	6,000円	No.1
11月14日	調査研究費 ガソリン代	848円	No.2
支出合計金額		6,848円	

支出科目： 調査研究費
合計金額： 6,848円

豊岡市、養父市視察分

領 収 証

様 No.

★ 〒 6,000 -

但 税収支票

2017年11月13日 上記正に領收回しました

合同会社ちきり屋

〒620-0872 京都府福知山市字岡
TEL 0773-22-3632 FAX 0773-22-3633

税抜金額
消費税額等(%)
取印人
ヨクヨウタケ-1097

大志の会様
ENEOS

納品書(領收書)

2017年11月14日 16:59

売上
現金フリー 1 様 M
6-620027-49999-001

現金フリー
車両番号 実車番
[REDACTED]

レギュラー P04
数量 6.28L *
単価 135円 ¥848

合計 ¥848
(内消費税等(8.00%) ¥63)
お預り ¥2,000
お釣り ¥1,152

現金でも實上けの場合は領收書にかえさせて頂きます。

日引商事 株式会社
DDセルフ福知山東SS
京都府 福知山市
堀小字草木2326

TEL:0773-22-3335 SS-620027

レートNo 1696-02

データNo2812-2813

079後藤 剛 2017/11/14

(様式3)

経費精算書

会派名 大志の会

代表者名 桐村一彦

経理責任者 西田信吾



1 研修年月日 平成30年 1月15日(月)～1月16日(火)

2 研修先 (公財) 全国市町村研修財団 市町村職員中央研修所
(市町村アカデミー JAMP)

(単位:円)

支出月日	支出項目	支出金額	領収書No.
1月15日	研修費 参加代	30,000円	NO①
12月26日	研修費 振込料	648円	NO①
1月12日	交通費	88,320円	NO①
支出合計金額		118,968円 ✓	

支出科目：研修費
合計金額：118,968円

市町村職員中央研修所分

京銀現金自動預金支払機

ご利用明細書

●本日は京銀をご利用いただきありがとうございます●

お取扱日	時刻	お取扱店番・ご利用内容
2912261122		お振込
お取引銀行	お取引店番	お取扱番号
		科 目・口 座 番 号
		4869
振込通番	振込手数料	金額
000050	¥648	¥30000
メッセージコード(銀行使用欄)	残高	**
お振込先		
サ"イ"セ"ソコクシチヨウソソケンシユウサ "イタ"ン"シチヨ 様		
ご依頼人	ラワチャマシキ"カイキ"イン タイシノカイニシ タ"シンゴ" 様	
ご案内	〔お知らせ欄〕	
おつり	¥352	

京都銀行

領收書

平成 30 年 1 月 12 日

福知山市議会 大志の会 様

現金

小切手

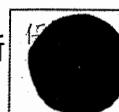
その他

金額 **¥88,320**

但し JR代金
福知山～幕張本郷 往復



国際交流の一翼を担う
株式会社
KSAエンタープライズ福知山営業所
〒620-0866 京都府福知山市前田新町194番地
TEL 0773 (27) 1414 FAX 0773 (27) 8786



内訳は別紙

別紙

平成30年1月11日

請求書

福知山市議会 大志の会 様

毎度格別なお引立てを頂き有難うございます。
下記のとおりご請求申し上げますのでよろしくお願ひいたします。

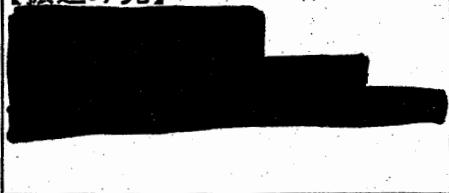
ご請求金額

¥ 88,320 円

銀行振込みの場合は 月 日までにお願いいたします。

振込み手数料はお客様ご負担にてお願ひいたします。

【振込み先】



株式会社 KSAエンタープライズ

福知山當業所

元620-0866

福知山市前田新町194

TEL0773-27-1414 FAX0773-27-8786

代表取締役

相当者

三二四

印

(印)

整理番号 430
領収書発行日 平成30年1月15日

領 収 書

高宮 辰郎 様

¥10,000※

但し、研修費として。

研修科目：市町村議会議員特別セミナー～地域における政策課題～
受講者氏名：高宮 辰郎

入金日：平成29年12月26日
入金方法：銀行振込

千葉市美浜区浜田1-1
公益財団法人 全国市町村研修財團
市町村職員中央研修所
分任出納役 石橋 美秀

整理番号

431

領収書発行日

平成30年1月15日

領 収 書

桐村 一彦 様

¥10,000※

但し、研修費として。

研修科目：市町村議会議員特別セミナー～地域における政策課題～
受講者氏名：桐村 一彦

入金日：平成29年12月26日

入金方法：銀行振込

千葉市美浜区浜田1-1
公益財団法人 全国市町村研修財団
市町村職員中央研修所
分任出納役 石橋 美秀

整理番号 432
領収書発行日 平成30年1月15日

領 収 書

西田 信吾 様

¥10,000※

但し、研修費として。

研修科目：市町村議会議員特別セミナー～地域における政策課題～
受講者氏名：西田 信吾

入金日：平成29年12月26日
入金方法：銀行振込

千葉市美浜区浜田1-1
公益財団法人 全国市町村研修財團
市町村職員中央研修所
分任出納役 石橋美秀

支出科目： 資料作成費
合計金額： 7,909円

会派室プリンターインク、用紙、コピー代

領 収 証

No._____

大志の会 様

29年10月6日

★ ￥1166-

但 1166

上記正に領收回いたしました

内訳

税抜金額

消費税額等(%)

文具・事務用品・オフィス家具・OA機器

株式会社 **前川太市商店**

〒620-0942 福知山市駅南町2丁目261番地
TEL0773-23-3211代 FAX0773-23-3212

支出科目： 資料作成費
合計金額： 7,909円

会派室プリンターインク、用紙、コピ一代

(公) 納入通知書兼領収書

口座番号 01090-7-960071 加入者名 福知山市会計管理者

平成29年度 番号 6700037779-00-00

納付者 福知山市字内記13-1
大志の会様

コピー代
平成28年度上半期（4月～9月分）

納付金額 134円

納入期限 平成29年10月31日

所属 01010000 市議会 議会事務局

会計 01 一般会計

款 20 諸収入

項 05 雑入

目 04 雑入

節 01 雑入

細節 50 コピー代

説明 02 議会事務局

上記のとおり納付してください。

平成29年10月4日

福知山市長
大橋 一夫

上記のとおり領収しました。

京都府福知山市 市町村コード 262013



(納付者保管)

65000086400000



A 4 2 9 6 7 0 0 0 3 7 7 7 9 0 0 0 0 A

支出科目： 資料作成費
合計金額： 7,909円

会派室プリンターインク、用紙、コピー代

合計金額： 7,909円

領收証

No.

大志の会 様

30 年 3 月 24 日

★ 5654-

但 7011A-127

上記正に領収いたしました

内訳

文具・事務用品・オフィス家具・OA機器

税抜金額

消費稅額等(%)

株式会社 前川太市商店

〒620-0942 福知山市駅南町2丁目261番地
TEL0773-23-3211(代) FAX0773-23-3212

0.73 - 0.7 = 0.03

領 収 証 A 033746

大光の会 様

2018年3月24日

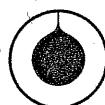
金額

300000

内消費税 ￥66

内訳 75°一周期

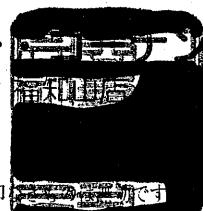
上記正に領収いたしました



住いと暮らしの総合店

ホームセンター
コーエン商事株式会社

京都府福知山市駅前町352番地
TEL 0773-24-5212



当社はこの用紙にプリンター印字以外の領収証は発行致しません。又係印

支出科目： 資料作成費
合計金額： 7,909円

会派室プリンターインク、用紙、コピー代

(公) 納入通知書兼領収書

口座番号 01090-7-960071 加入者名 福知山市会計管理者

平成29年度	番号 6700070175-00-00
納付者	〒 福知山市字内記13-1 大志の会 様
コピー代 平成29年度下半期分 (平成29年10月～平成30年3月分)	
納付金額	55円
納入期限	平成30年 3月30日
所属	01010000 市議会 議会事務局
会計	01 一般会計
款	20 諸収入
項	05 雜入
目	04 雜入
節	01 雜入
細節	50 コピー代
説明	02 議会事務局
上記のとおり納付してください。 平成30年 3月26日 福知山市長 大橋 一夫	
上記のとおり領収しました。	
京都府福知山市 市町村コード 262013	
領収印 福知山市 金銭分任出納員 30.3.28 (89) 領收	
(納付者保管)	

65000169220000



A 4 2 9 6 7 0 0 0 7 0 1 7 5 0 0 0 0 A

納めるところ	
福知山市役所会計室及び各支所出納窓口	
京都銀行	本店・支店
京都北都信用金庫	本店・支店
京都丹の国農業協同組合	本店・支店
関西アーバン銀行	福知山支店
近畿労働金庫	福知山支店
但馬銀行	福知山支店
但馬信用金庫	福知山支店
福知山市内の京都農業協同組合	
福知山市内の中兵庫信用金庫	
近畿2府4県の郵便局（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、和歌山県）	